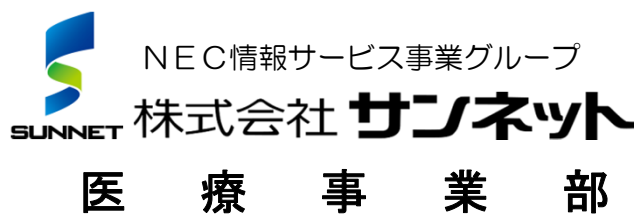


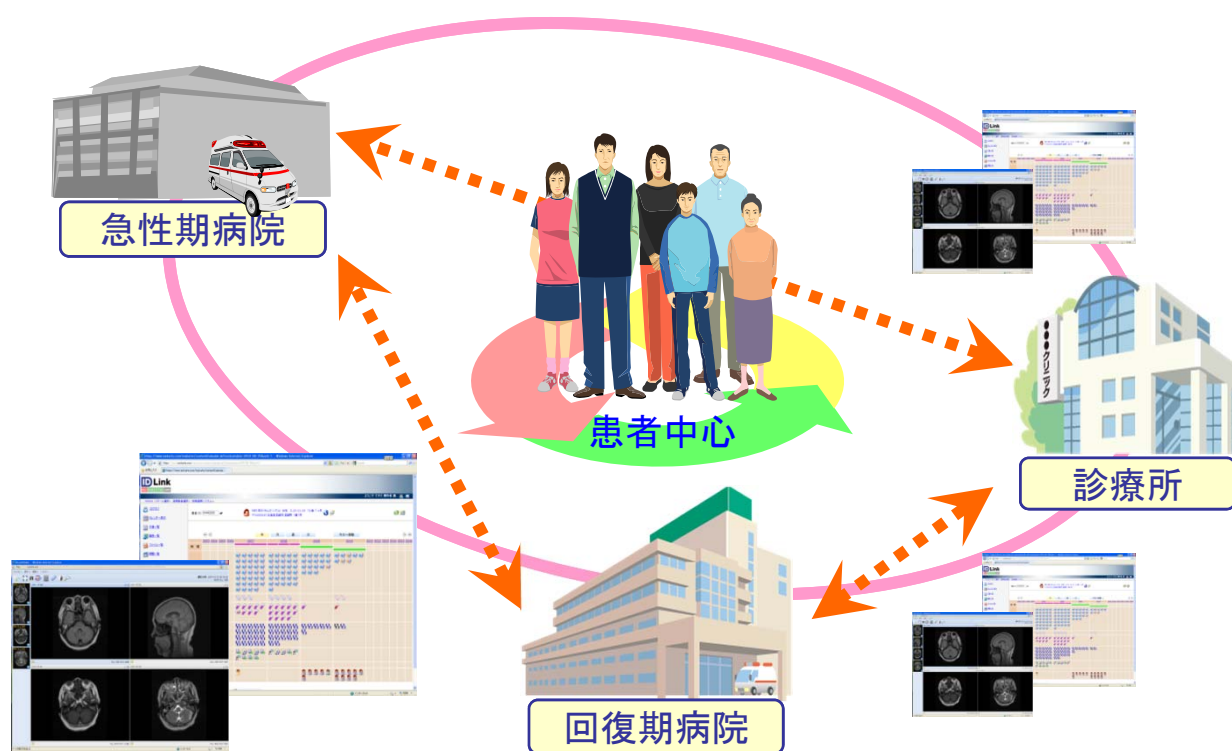
# ネットワーク参照型システム 紹介資料



# 1. ID-Linkによる地域連携

地域に分散した診療情報を統合して共有するインターネットを活用したネットワークサービス

診療情報の共有で患者中心の地域連携を実現します。

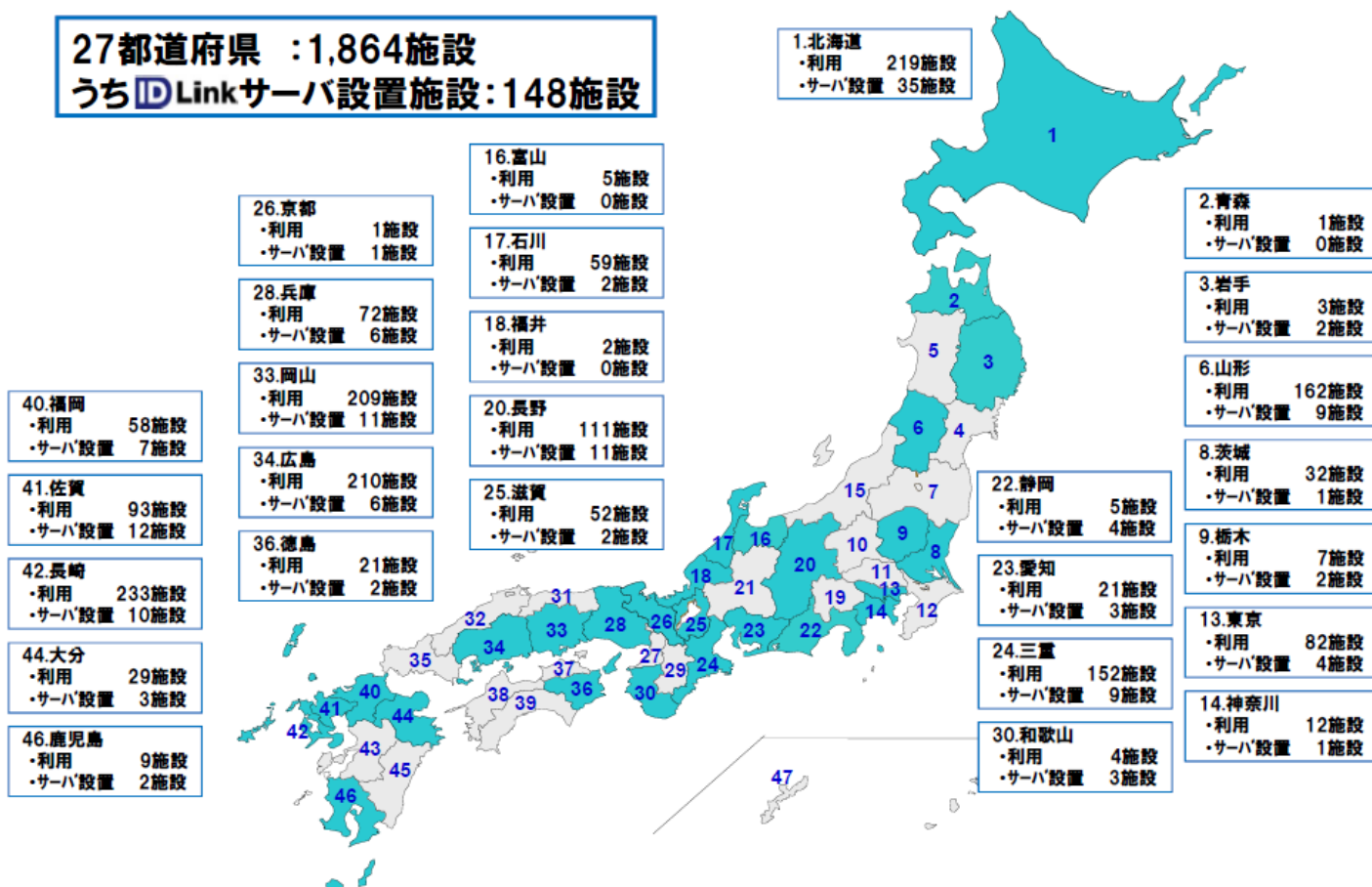


※表示されている氏名や診察情報は、すべて架空のものです。  
※画面や仕様は、製品出荷時に予告無く変更する事があります。

## 2. ID-Linkサービス導入実績(H25.4末現在)

全国の他地域で同様の仕組みで地域連携サービスを構築

27都道府県 : 1,864施設  
うちID-Linkサーバ設置施設: 148施設

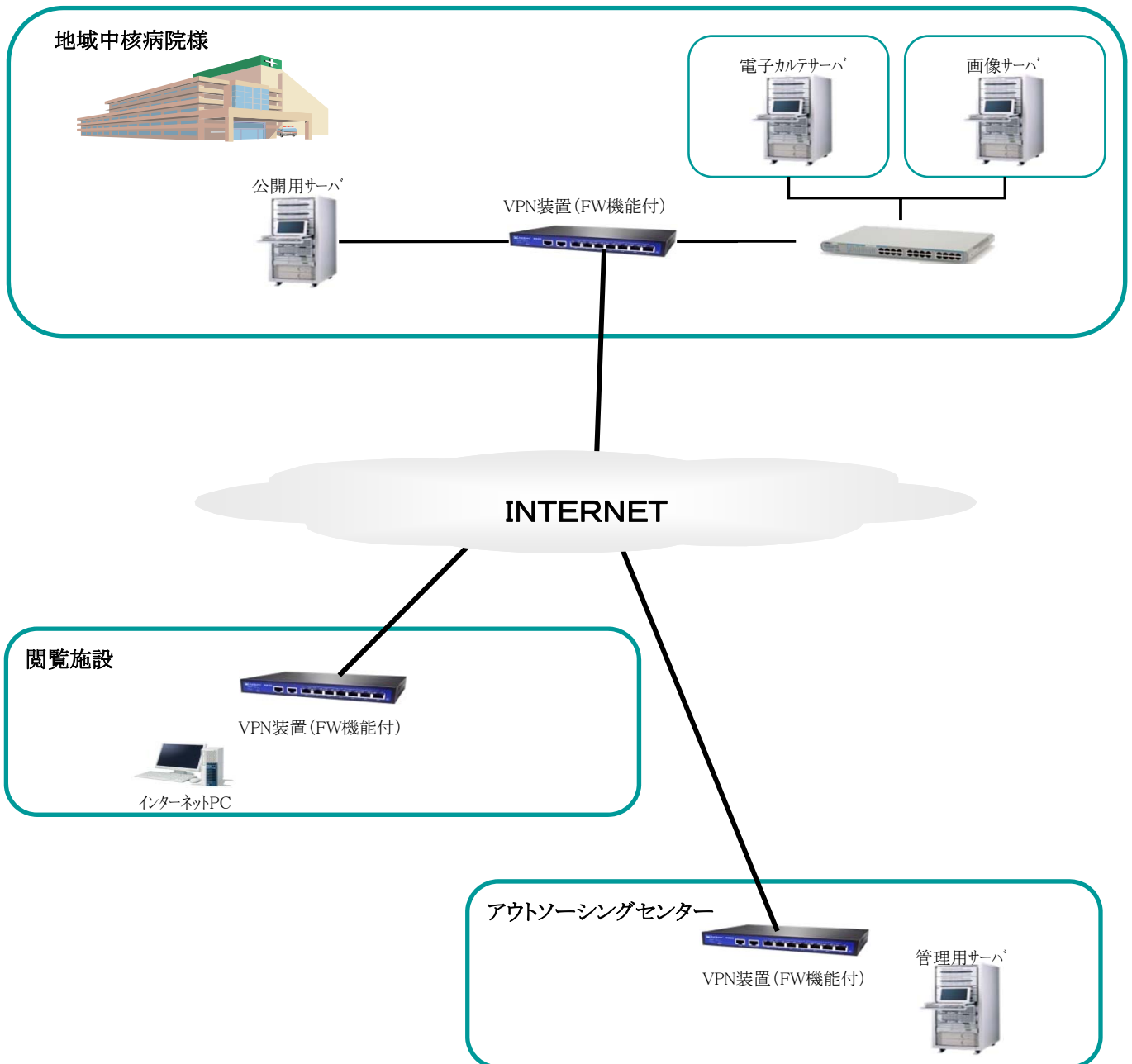


※「ID-Link」は、株式会社エスイーシーの登録商標です。  
 ※稼働実績施設数は、導入中の施設も含みます。  
 ※ID-Linkサーバ設置施設数には、納入済みでもサービスセンターに未接続の施設は含まれません。

### ■システムが稼働している病院における具体的なシステム導入の効果

- 複数診療科・複数医療施設からの処方閲覧  
→重複による危険回避(医療安全)
- 問い合わせ等の回数減少や問い合わせ時の効率化
- 病院の専門化・かかりつけ医の活用による、効率的医療

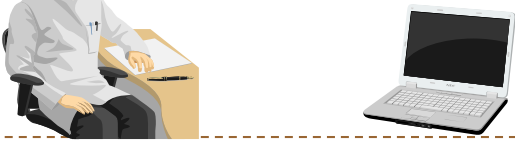
### 3. ID-Link概念図



# 4. 各施設の役割とデータの流れ

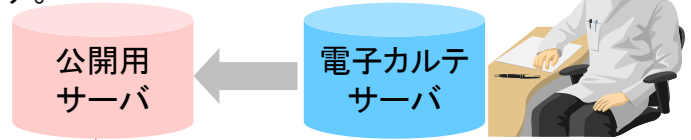
## 【データ閲覧施設】

見たい患者を指定し、データの閲覧申請と、最新情報の取得依頼。対象情報を閲覧します。



## 【データ開示施設】

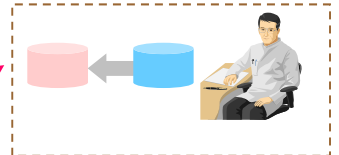
データの開示要求に基づき、診療内容を公開用サーバへ登録。データを開示します。



## 【その他閲覧施設】



## 【その他開示施設】



## 【アウトソーシングセンター】



職員ID 患者ID  
データ保管場所情報

**患者の診療情報は保管しません！**

＜閲覧側へ＞

依頼元と依頼先を照合し、  
閲覧権限の有無を確認します。  
閲覧可能であれば、  
保管場所情報を開示します。

＜開示側へ＞

依頼元・依頼先で  
設定された権限の範囲で、  
データ更新の依頼をし、  
保管場所情報を取得します。

